

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 1 月 10 日作成)

小委員会名	光と色の情報普及小委員会	主 査 名：望月悦子 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (光環境運営委員会)	委員長名：大岡龍三 主 査 名：原 直也
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築環境工学の中で光・色に関する内容の枠組み・構成は、ほぼ定形化している向きがあるが、近年の照明技術等の発達に伴い、従来の定形化された枠組み・構成では、今後、対応しきれなくなる可能性もある。</p> <p>次世代の光・照明環境に対応していくために、建築に携わる全ての人が共有していくべき光・色に関する情報ならびにその共有方法について検討する。</p> <p>初年度：建築環境工学以外の分野で光環境を扱っている分野、関連する活動領域にどのような分野があるのか調査する。</p> <p>2 年度：建築環境工学以外の分野で光・色がどのように扱われているか調査し、光・色に関する情報の発信方法、共有方法における課題を抽出する。</p> <p>3～4 年度に設置する新たな WG で取り組むべき内容、活動方針を検討する。</p> <p>3 年度：2 年度に引き続き、光・色に関する情報の発信方法、共有方法における課題を抽出する。</p> <p>4 年度：4 年間の活動成果についてシンポジウム等で公表する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：望月悦子 (千葉工業大学) 幹事：加藤未佳 (日本大学) 委員：秋月有紀 (富山大学)、大井尚行 (九州大学)、神農悠聖 (大手前大学)、山本早里 (筑波大学)、原直也 (関西大学)、岡本洋輔 (大同大学)、奥田紫乃 (同志社女子大学)、小崎美希 (東京大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	① 光と色の教育シンポジウム WG ・ 初学者に対し、建築の光環境・色の分野において教育すべき内容を検討する。 ・ 現地開催のシンポジウムを企画・開催する ・ オンデマンド教材の開発、定期的な配信 (アーカイブ化) について検討する。 ② 光と色の教育デザイン WG ・ 各大学で光・色に関してどのような教育が行われているのか調査する。 ・ 設計事務所、ゼネコンなどを対象に、建築光環境に関して持ち合わせておいて欲しい知識・内容はどのようなものか調査する。 ・ 建築に携わる各専門分野の人達に向けて、今後教授すべき建築光環境の内容について整理する。	
2023 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	光環境シンポジウム 「先輩研究者・技術者に聞く光環境研究の秘話 第 3 回: 井川憲男先生」 <div style="text-align: right;">参加者数 23 名</div>

大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 <small>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</small>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「先輩研究者・技術者に聞く光環境研究の秘話」の第3回目を企画、開催した。 2. 大学における光環境に関する教育の実態と課題について調査し、分析を行った。 3. 建築に携わる各専門分野の人達に向けて、建築光環境に関連する内容について大学で学んだこと、および実務開始後に必要になった事項についてのヒアリングを開始した。
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. オンデマンド教材、アーカイブ化教材の保管・管理方法について検討する必要がある。 2. 大学における光環境に関する教育の実態と課題についての調査結果を公開可能な形に整理する必要がある。